



2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年7月31日

上場会社名 サノヤホールディングス株式会社 上場取引所 東
コード番号 7022 URL <https://www.sanoyas.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 北達 伊佐雄
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 福井 直也 (TEL) 06-4803-6171
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	4,718	33.1	△296	—	△274	—	△294	—
2024年3月期第1四半期	3,545	12.9	△620	—	△520	—	△545	—

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 △227百万円(—%) 2024年3月期第1四半期 △311百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2025年3月期第1四半期	円 銭 △8.85	円 銭 —
2024年3月期第1四半期	円 銭 △16.31	円 銭 —

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2025年3月期第1四半期	百万円 27,405	百万円 8,603	% 31.2
2024年3月期	27,249	9,137	33.3

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 8,543百万円 2024年3月期 9,078百万円

(注) 「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、前連結会計年度の連結財務諸表を組み替えております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2024年3月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 5.00	円 銭 5.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	0.00	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,500	0.6	100	△80.4	200	△68.6	200	△56.4	5.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 10「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3). 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年3月期1Q	33,814,782株	2024年3月期	33,814,782株
2025年3月期1Q	779,294株	2024年3月期	47,248株
2025年3月期1Q	33,218,499株	2024年3月期1Q	33,426,571株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(追加情報)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	10
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10
(セグメント情報等の注記)	11
(重要な後発事象)	11

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

(単位：百万円)

	前第1四半期 (2024年3月期)	当第1四半期 (2025年3月期)	増減額	増減率 (%)
売上高	3,545	4,718	1,173	33.1
営業損失 (△)	△620	△296	324	—
経常損失 (△)	△520	△274	245	—
親会社株主に帰属する 四半期純損失 (△)	△545	△294	250	—

建設工事用エレベーター、乳化・攪拌装置、大規模施設向け動力制御盤・分電盤・配電盤等に加え、遊園地遊戯機械設備の製造・販売が好調に推移したことを主因に増収増益となりました。

(単位：百万円)

	前第1四半期 (2024年3月期)	当第1四半期 (2025年3月期)	増減額	増減率 (%)
受注高	5,666	4,070	△1,596	△28.2
受注残高	16,100	14,269	△1,830	△11.4

レジャーセグメントにおいて前第1四半期に大口案件を受注した反動により、前年同期比の受注高・受注残高は減少しました。

セグメント区分

	製造業向け セグメント	建設業向け セグメント	レジャー セグメント
サノヤス・エンジニアリング(株) 機械式駐車装置の製造及びメンテナンス ショットブラストマシンの製造及びメンテナンス 建設工事用エレベーターの製造及びレンタル	○	○ ○	
サノヤス精密工業(株) 各種産業機械部品の製造及び組立 農機及び特装自動車用部品の製造及び組立	○ ○		
みづほ工業(株)、美之賀機械(無錫)有限公司 乳化・攪拌装置の製造 純水設備・排水処理設備及び膜分離装置の設計及び施工 大型食品タンク等各種タンクの設計及び施工	○ ○ ○		
サノヤス・エンテック(株) 空調・給排水・衛生設備の設計及び施工 環境装置の製造及びメンテナンス 医療廃棄物処理装置の製造及びメンテナンス	○ ○	○	
ハピネスデンキ(株) 大規模施設向け動力制御盤・分電盤・配電盤等の製造 及び電気工事		○	
松栄電機(株)、松栄電気システムコントロール(株) 通信インフラ向け配電盤・分電盤等の製造		○	
サノヤス・ライド(株)、サノヤス・ライドサービス(株) 遊園地遊戯機械設備の製造及びメンテナンス 遊園地施設の運営管理の受託			○ ○

(製造業向けセグメント)

(単位：百万円)

	前第1四半期 (2024年3月期)	当第1四半期 (2025年3月期)	増減額	増減率 (%)
売上高	1,334	1,662	327	24.6
営業損失 (△)	△154	△37	116	—
受注高	1,737	1,642	△95	△5.5
受注残高	5,742	3,951	△1,790	△31.2

売上高は、各種産業機械部品の製造が回復した他、乳化・攪拌装置のメンテナンスが順調に推移したため、増収増益となりました。

受注高は、ショットブラストマシンの製造が堅調でしたが、環境装置の製造及びメンテナンスが低調であったため前年並みとなりました。

(建設業向けセグメント)

(単位：百万円)

	前第1四半期 (2024年3月期)	当第1四半期 (2025年3月期)	増減額	増減率 (%)
売上高	1,530	2,085	555	36.3
営業利益又は 営業損失 (△)	△191	79	270	—
受注高	2,579	2,172	△406	△15.8
受注残高	8,776	9,395	619	7.1

売上高は、機械式駐車装置の製造及びメンテナンスや建設工事用エレベーター、動力制御盤・分電盤・配電盤等の製造・販売が好調に推移した結果、増収増益となりました。

受注高は、建設工事用エレベーターが好調に推移する一方で、動力制御盤・分電盤・配電盤等の製造が低調であったため減少しましたが、受注残高は高水準を維持しています。

(レジャーセグメント)

(単位：百万円)

	前第1四半期 (2024年3月期)	当第1四半期 (2025年3月期)	増減額	増減率 (%)
売上高	680	970	290	42.6
営業利益	118	108	△10	△8.7
受注高	1,349	255	△1,093	△81.0
受注残高	1,581	922	△659	△41.7

売上高は、遊園地遊戯機械設備の販売は増加したものの、収益性の高い遊園地施設運営において休日やゴールデンウィークの天候不順が来客に影響したことから増収減益となりました。

受注高・受注残高は、前第1四半期に大口の遊園地遊戯機械設備を受注した反動で前年同期比では減少しています。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(単位：百万円)

	前会計年度	当第1四半期	増減額	主な増減理由
流動資産	12,446	12,521	75	売掛金 △2,123 電子記録債権 △366 現金及び預金 1,605 仕掛品 563 契約資産 253
固定資産	14,803	14,883	80	投資有価証券 79
流動負債	12,025	12,711	686	電子記録債務 △353 支払手形及び買掛金 △272 賞与引当金 △224 未払法人税等 △187 短期借入金 1,800
固定負債	6,085	6,090	4	リース債務 △52 繰延税金負債 78
純資産	9,137	8,603	△534	利益剰余金 △445

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期業績予想につきましては、現時点においては2024年5月13日に公表した数値を見直ししておりません。

(今後の当社グループの業績におけるリスク要因)

- ・地政学リスク等による部品・部材調達の遅れや原材料価格の上昇が製造業向け・建設業向けセグメントに影響を与えるリスク
- ・コロナ禍の再拡大がレジャーセグメントの事業環境悪化を招くリスク
- ・台風や地震等自然災害が当社や協力会社などのサプライチェーン及び顧客に与えるリスク
- ・グローバル経済の減速が顧客の売上や設備投資に影響するリスク

今後、こうした要因を含め、業績予想の修正開示が必要となった場合には、速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,626	3,232
受取手形	275	268
売掛金	4,766	2,642
契約資産	744	997
電子記録債権	1,272	905
商品及び製品	266	280
仕掛品	1,491	2,054
原材料及び貯蔵品	1,290	1,332
その他	726	819
貸倒引当金	△14	△11
流動資産合計	12,446	12,521
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,144	3,123
機械及び装置（純額）	1,797	1,742
土地	2,831	2,831
その他（純額）	386	423
有形固定資産合計	8,159	8,121
無形固定資産		
ソフトウェア	509	520
のれん	589	567
その他	17	17
無形固定資産合計	1,116	1,105
投資その他の資産		
投資有価証券	4,777	4,857
繰延税金資産	200	253
退職給付に係る資産	301	299
その他	250	249
貸倒引当金	△2	△2
投資その他の資産合計	5,526	5,657
固定資産合計	14,803	14,883
資産合計	27,249	27,405

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,840	1,568
電子記録債務	2,468	2,115
短期借入金	3,650	5,450
1年内返済予定の長期借入金	1,432	1,339
未払法人税等	212	25
契約負債	595	623
賞与引当金	383	159
保証工事引当金	127	147
受注工事損失引当金	50	49
リース債務	229	229
その他	1,035	1,002
流動負債合計	12,025	12,711
固定負債		
長期借入金	2,432	2,393
リース債務	356	304
繰延税金負債	1,213	1,292
退職給付に係る負債	1,784	1,800
資産除去債務	294	294
その他	4	6
固定負債合計	6,085	6,090
負債合計	18,111	18,801
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,628	2,628
資本剰余金	46	46
利益剰余金	3,974	3,529
自己株式	△9	△160
株主資本合計	6,640	6,044
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,269	2,316
繰延ヘッジ損益	12	10
為替換算調整勘定	79	101
退職給付に係る調整累計額	75	70
その他の包括利益累計額合計	2,437	2,499
新株予約権	59	59
純資産合計	9,137	8,603
負債純資産合計	27,249	27,405

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	3,545	4,718
売上原価	2,899	3,663
売上総利益	645	1,055
販売費及び一般管理費	1,266	1,351
営業損失(△)	△620	△296
営業外収益		
受取利息	2	2
受取配当金	119	69
その他	10	5
営業外収益合計	132	77
営業外費用		
支払利息	26	26
為替差損	2	24
その他	2	4
営業外費用合計	32	55
経常損失(△)	△520	△274
特別利益		
固定資産売却益	1	—
特別利益合計	1	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△518	△274
法人税、住民税及び事業税	15	18
法人税等調整額	11	1
法人税等合計	26	19
四半期純損失(△)	△545	△294
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△545	△294

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純損失(△)	△545	△294
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	231	50
繰延ヘッジ損益	5	△1
為替換算調整勘定	8	22
退職給付に係る調整額	△11	△5
その他の包括利益合計	233	66
四半期包括利益	△311	△227
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△311	△227
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(資本金及び資本準備金の額の減少)

当社は、2024年3月29日開催の取締役会において、資本金及び資本準備金の額の減少について2024年6月25日開催の第13期定時株主総会に付議することを決議し、2024年6月25日開催の定時株主総会において当該議案は承認可決されました。

1. 資本金及び資本準備金の額の減少の目的

今回の資本金及び資本準備金の額の減少は、現在の事業規模に応じた適切な税制の適用を通じて財務内容の健全性を維持し、今後の資本政策の柔軟性及び機動性の確保を目的として行うものです。

具体的には、会社法第447条第1項及び第448条第1項の規定に基づき、資本金及び資本準備金の額を減少し、減少する資本金及び資本準備金の額の全額をその他資本剰余金に振り替えるものです。

2. 資本金の額の減少の要領

(1) 減少すべき資本金の額

当社の資本金の額を2,628,367,502円から2,568,367,502円減少して60,000,000円といたします。

(2) 減資の方法

払い戻しを行わない無償減資とし、発行済株式総数の変更は行わず、会社法第447条第1項の規定に基づき、減少する資本金の額全額をその他資本剰余金に振り替えることといたします。

3. 資本準備金の額の減少の要領

(1) 減少すべき資本準備金の額

当社の資本準備金の額を1,200,920,355円から1,185,920,355円減少して15,000,000円といたします。

(2) 減資の方法

会社法第448条第1項に基づき、減少する資本準備金の額全額をその他資本剰余金に振り替えることといたします。

4. 資本金及び資本準備金の額の減少の日程

- | | |
|-----------------|----------------|
| (1) 取締役会決議日 | 2024年3月29日 |
| (2) 定時株主総会決議日 | 2024年6月25日 |
| (3) 債権者異議申述公告日 | 2024年6月28日 |
| (4) 債権者異議申述最終期日 | 2024年7月29日 |
| (5) 減資の効力発生日 | 2024年8月1日 (予定) |

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減するとともに、対応する金額をその他の包括利益累計額のうち、適切な区分に加減し、当該期首から新たな会計方針を適用しております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響は軽微であります。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。この結果、前連結会計年度の「繰延税金負債」が176百万円減少し、「利益剰余金」が同額増加しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	174百万円	189百万円
のれんの償却額	22百万円	22百万円

(セグメント情報等の注記)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報
 (単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	製造業向け	建設業向け	レジャー			
売上高						
一時点で移転される財 又はサービス	1,310	857	611	2,779	—	2,779
一定の期間にわたり移転 される財又はサービス	24	672	69	766	—	766
顧客との契約から生じ る収益	1,334	1,530	680	3,545	—	3,545
外部顧客への売上高	1,334	1,530	680	3,545	—	3,545
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,334	1,530	680	3,545	—	3,545
セグメント利益又は 損失(△)	△154	△191	118	△226	△394	△620

- (注) 1 調整額は、以下のとおりであります。
 セグメント利益又は損失の調整額△394百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△398百万円、
 貸倒引当金の調整額0百万円及びセグメント間取引消去4百万円であります。
 全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- 2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報
 (単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	製造業向け	建設業向け	レジャー			
売上高						
一時点で移転される財 又はサービス	1,560	1,448	682	3,691	—	3,691
一定の期間にわたり移転 される財又はサービス	102	636	288	1,026	—	1,026
顧客との契約から生じ る収益	1,662	2,085	970	4,718	—	4,718
外部顧客への売上高	1,662	2,085	970	4,718	—	4,718
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,662	2,085	970	4,718	—	4,718
セグメント利益又は 損失(△)	△37	79	108	149	△445	△296

- (注) 1 調整額は、以下のとおりであります。
 セグメント利益又は損失の調整額△445百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△448百万円、
 貸倒引当金の調整額△1百万円及びセグメント間取引消去4百万円であります。
 全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- 2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。